

【認知症対応型共同生活介護 用】

1. 第三者評価結果概要表

作成日：平成20年6月28日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-----------------------------------|--------------|------------|
| 事業所番号 | 2870600778 | | |
| 法人名 | 有限会社 ユニバーサルライフ | | |
| 事業所名 | グループホーム 「紅葉（もみじ）」 | | |
| 所在地 | (〒 653-0882) 兵庫県神戸市長田区天神町2丁目13-15 | | |
| | 電話 | 078-641-4838 | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ライフ・デザイン研究所 | | |
| 所在地 | 兵庫県神戸市長田区荻乃町2丁目2番14-703号 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年6月2日 | 評価確定日 | 平成20年6月28日 |

【情報提供票より】 [平成20年5月20日 事業所記入の同書面より要点を転記]

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-----------------|----------|
| 開設年月日 | 平成15年9月15日 | | |
| ユニット数 | 1ユニット (利用定員…計6人) | | |
| 職員数 | 12人 | (常勤2人) (非常勤10人) | / 常勤換算8人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------------------|--|--|
| 建物構造 | 木造コロニアル葺造り | | |
| | 地上2階建て建物の 1階～2階部分 | | |

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------|---------|---|
| 家賃(平均月額) | 58,333円 | その他の経費(月額) | 25,000円 | |
| 敷金の有・無 | 有り (円) ・ (無) | | | |
| 保証金の有・無 (入居一時金含む) | 有り (300,000円) ・ 無し | (保証金有りの場合) 保証金償却の有・無 | 有り ・ 無し | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または、1日あたり | | 1,500円 | |

(4) 利用者の概要 (平成20年5月20日 現在)

| | | | |
|-------|----------------------------|------|----|
| 利用者人数 | 計6名 … (男性0名) (女性6名) | | |
| 要介護1 | 0名 | 要介護2 | 2名 |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 1名 |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 |
| 年齢 | 平均86.5歳 … (最低79歳) (最高100歳) | | |

(5) 協力医療機関

| | | | | |
|---------|--------|-----|------|------|
| 協力医療機関名 | 神戸朝日病院 | 関医院 | 中村歯科 | 土井歯科 |
|---------|--------|-----|------|------|

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

神戸電鉄「長田駅」より徒歩3分の、閑静な住宅街にある。一戸建住宅を改築したホームであり、外観も近隣の住宅と変わりはない。利用定員は「6名」と少人数で、その分、利用者一人ひとりに目が行き届き、各々の自主性を大切にされたケアがなされている。居間・食堂は家庭のお茶の間のような雰囲気、訪問時においても、利用者の皆さんの会話がはずんでいた。家事を中心に協働の機会も多く、毎日の食事、利用者の好みを聴き取り、季節の食材を取り入れ、メニュー作りから後片付けを利用者と一緒に行っていた。外出(お花見など)の際にも弁当を手作りするなど、常に「家族の生活」を意識したケアが実践されている。何気ない日常の中にも、近隣の方の協力(散歩の同行・ゴミ出し等)も得られ、理想的な地域交流が持たれている。 ◎添付の資料写真も参照

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) ①研修の記録整備と年間計画の策定を進めてもらいたい。②ヒヤリハット活動においては更なる改善を要する。③苦情窓口の広報はなされている。 |
| | 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:第三者4) 職員全員で取組み、管理者がこれをまとめた。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:第三者4, 5, 6) 運営推進会議は、利用者・家族・自治会長・地域住民代表・あんしんすこやかセンター職員・民生委員・ホーム職員の参加のもと、2カ月に1回開催されている。参加者の意見交換は活発になされており、この会議を「福祉センター」を借りて行なっているのも地域の方々からの提案による。会議での話し合いの中で、利用者の散歩付き添いの申し出があり、実際にこれを取り入れているなど、地域交流の効果をあげている。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 毎月「紅葉通信」を発行し、行事案内やお知らせ事を伝え、入居者個々の暮らしぶりを伝える手紙を同封している。ホームでは、家族等から相談や苦情を申し出やすい雰囲気作りを心掛けてもいる。 |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 自治会に加入し、「ふれあい喫茶」への参加や地域清掃などの地域行事には、職員と利用者が一緒になって、積極的に参加している。ゴミ出しの手伝いや散歩の見守りなど、日常の暮らしのなかで地域との関わりを深めている。 |
| 重点項目④ | |

◎居心地のよい共用空間づくり
壁に飾られている共同作品



◎居心地よく過ごせる居室の配慮
個々の居室は馴染みの物で…



◎食事を楽しむことのできる支援
今日は、お客様を手作りの料理で迎えて…



◎居心地のよい共用空間づくり
共用スペースにも、ひとりでゆっくりできる場所を…





▲生活空間の配慮
(椅子の脚に、テニスボールで工夫)



▲居室は、入居者それぞれの好みで…
住まいとして、使い慣れた家具を持ち込み…

▼小学校での「ふれあい喫茶」で交流 (右は案内の掲示)



▲お洒落な佇まい (表札も手作り)



▲中庭の「紅葉(もみじ)」

2. 第三者評価結果票

| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|------------------------------|------|---|---|--------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「真心(地域との関わりに真心をもつ)・快適(孤立感の無い快適な環境)・安心(近所との顔なじみの関係構築により生活に安心を)」を理念に、利用者にとって、地域の中でその人らしい生活ができるよう支援している。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は、玄関ホールでの掲示され、また、日誌にも挟まれており、職員全員が共有し取り組んでいる。毎回の職員会議でも理念の実践に向けての話し合いがもたれている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会にも加入し、地域清掃や小学校横の福祉センターでのふれあい喫茶には、利用者と共に必ず参加している。資源ごみの日に、近所の方がゴミ出しを手伝ってくれ、外に出れば声をかけてくれるなど、何気ない日常のなかで地域交流が進んでいる。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義については、全員に周知されており、職員会議において、検討・改善に向けた話し合いがもたれ、それに取り組んでいる。評価結果は家族にも伝えられている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|------------------------|------|--|--|--------------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議での意見交換も活発であり、利用者の散歩の付き添いに行き添って頂くなどの地域交流に繋がっている。会議の開催場所を「地域福祉センター」としたのも地域の方々からの提案による。 | ○ | ホームが地域交流の場となるよう、環境を整えてゆかれることに期待する。 |
| 6 | 9 | ○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市主催の研修参加や、長田区グループホーム連絡会に参加し、交流をもっている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ホームとしては「紅葉通信」を発行し、行事や職員の異動について知らせている。個々の入居者の様子については、別に手紙を同封し伝えている。少しでも変化のあった時は随時家族と電話連絡している。金銭については立替払いをしており、精算時にその説明をしている。 | ○ | 入居者個人の日常をより細やかに伝えるために、日常生活を写真に撮ったアルバムの作成してみてもどうか。個人宛の手紙を“担当制”にするなどしてみてもよいと思う。 |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 内・外部の苦情窓口を明示しており、家族来所の際には、家族から意見を言いやすい雰囲気作りに努めている。その内容は、職員会や申し送りにおいて話し合われ、運営に反映する仕組みがある。提案や要望をご家族から更に頂ける様に「ご意見BOX」設置を検討中である。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動等を少なくするため、勤務希望を聴くなど、職員関係に気を配っている。利用者へのリスク排除に配慮し、やむをえない場合は、職員の重複体制をとるなどしている。 | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|----------------------------------|------|--|--|--------------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人研修としては、経験のある職員が付き、個別OJTを実施している。外部研修を受講後は、職員会議の場で伝達研修が行われ、職員間で共有されている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 長田区グループホーム連絡会に参加し、情報交換を行うなど、サービスの向上に取り組んでいる。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者の思いを受け入れられるよう、職員全員で取り組む努力をしており、入居前の相談や見学時、面談時において、ホームで他利用者と過ごす時間を設け、徐々に馴染んで頂く支援をしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている | 家事や物作りの場面で、利用者の持てる力を引き出す「待つ支援」を行っている。、ゆっくりと会話したり、共に過ごす時間を多く持つようしており、その中で支えあう関係作りをしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|------------------------------------|------|--|---|--------------------------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人や家族から情報収集し、日々寄り添うことによつて、その時々意向を把握するようにしており、1日2回の申し送り職員全員が情報を共有出来るようにしている。 | | |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ケアマネージャーを中心に、本人・家族の思いを聴き取り、職員と共に話し合いの上、介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的には3ヵ月、変化があった時は随時、本人・家族・主治医の意見を聴き、見直しを行っている。見直した計画は、その都度家族に報告している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 関連事業所が行なっているイベントに、利用者・家族と共に参加している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|----------------------------------|------|--|--|--------------------------|---|
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力病院へは、定期的を受診や往診があり、かかりつけ医への受診支援も行っている。協力病院の医師による、ケアの方法や助言を受けており、信頼関係も構築されている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期介護については、早い段階から、本人・家族・職員等で話し合う機会を持つようにしており、その方針については、関係者が全員で共有している。 | ○ | 看取り介護の指針について、家族と話し合い、方針を共有して頂きたい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 各職員はプライバシーに配慮した言葉かけや対応を行っている。個人情報については、職員全員と誓約書を交わし、家族の同意書をもらっている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 各職員は、会話を通して、日常生活での利用者の意見を聴き、支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|--------------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | <input type="checkbox"/> 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | その時々々の季候や旬を活かして、毎日の食事作りをメニュー作りから後片付けまで協働で行い、共にテーブルを囲みながら食事を摂ることによって、コミュニケーションを図っている。 | | |
| 23 | 57 | <input type="checkbox"/> 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 少人数のため、基本的には1日置きの入浴をしているが、季節湯をおこなったり、本人のペースを大切にしながらの入浴支援を行っている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | <input type="checkbox"/> 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居前後に情報収集した生活歴を参考に、料理や洗濯など、日常生活での役割があり、季節の行事やレクリエーションなどで楽しみごとの支援もしている。 | | |
| 25 | 61 | <input type="checkbox"/> 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 希望に応じて、日常的な買い物や散歩、神社への参拝を行ったり、地域行事への参加や近隣店舗での外食を行ったりしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | <input type="checkbox"/> 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、日中、玄関・勝手口の鍵は掛けずに開放している。門扉は、外部からの侵入等の危険から施錠している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 評価項目 | 評価機関が確認した「取り組みの事実」 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組みを期待する項目を ○印で示す | 事業所に対し「取り組みを期待する内容」 (すでに着手していることを含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|--------------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年3回、日中想定での避難訓練を行っており、消防からの協働の要請もある。 | ○ | 災害対策において、地域の協力を得られるよう、運営推進会議で話し合っていてもらいたい。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの食事量・水分量を日々記録し、把握しており、状態変化の早期発見に努めている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 近辺は住宅街のため静かで、リビングは家庭的な雰囲気であり、気候の良い日はテラスで過ごしたりと、ゆっくり過ごせるように配慮されている。壁の飾り付けを利用者と共に作成し、季節感も大切にしている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室に置く家具や物品は、馴染みのあるものを持ってきてもらい、落ち着いて過ごせるよう工夫している。 | | |

※  は、重点項目。